

全国書店員が選んだ

いちばん！

売りたい本



2021年本屋大賞

本屋大賞

ノミネート作品発表

書籍名五十音順

『犬がいた季節』

伊吹有喜◆双葉社

『お探し物は図書室まで』

青山美智子◆ポプラ社

『推し、燃ゆ』

宇佐見りん◆河出書房新社

『オルタネート』

加藤シゲアキ◆新潮社

『逆ソクラテス』

伊坂幸太郎◆集英社

『この本を盗む者は』

深緑野分◆KADOKAWA

『52ヘルツのクジラたち』

町田そのこ◆中央公論新社

『自転しながら公転する』

山本文緒◆新潮社

『八月の銀の雪』

伊与原新◆新潮社

『滅びの前のシヤングリラ』

凧良ゆう◆中央公論新社

本屋大賞とは、全国の書店員が自分で読んで「面白かった」、「お客様にも薦めたい」、「自分の店で売りたい」と思った本を選び投票して決める賞です。一次投票の結果、上位10作品が二次投票ノミネート作品と決定しました。今後このノミネート作品を対象に二次投票を実施し、4月に「本屋大賞」を発表します。対象は19年12月1日から20年11月30日の間に刊行された(奥付に準拠)日本の小説(判型問わずオリジナルの小説)